

## —元 日銀総裁 三重野康との絆—



阿藤伯海

阿藤伯海 ——世間ではあまり知られていない不世出の漢詩人である。彼を知る土屋竹雨（漢詩でただ一人の芸術院会員）は、「現代日本の代表的漢詩人」と激賞し、また柴田錬三郎（小説家）は「私の知る限り、現代に生きた人で感嘆に値する漢詩を作った碩学は一人しかいない。阿藤伯海という人である。」と彼の才能に賛辞を呈している。

一方、教育者としての彼を、宇沢弘文（文化勲章受章者）は「阿藤伯海と彼に師事した『藤門の書生たち』との交友こそが教育理想像である。」と言っている。

今回、原田文学館では、「文学者」としての阿藤伯海の生涯と、「藤門」の書生、の一人で、阿藤伯海を師と仰いだ日本銀行第26代総裁の三重野康との交流を紹介することにより、その作品と人柄にふれて深い魅力を感じていただければ幸甚である。



三重野 康



『大簡詩草』



阿藤伯海生家（現・記念公園）

展示期間：2025年7月7日(月)～2026年1月21日(水)

開館日：月・火・水曜日(祝日は休館)

開館時間：11時～16時（入館は閉館30分前）

入館料：無料

アクセス：JR鴨方駅から徒歩20分、車で5分。

駐車場：14台

# 原田文学館

〒719-0252  
岡山県浅口市鴨方町六条院中1052-4  
TEL 080-1939-0939

